

自宅やご近所の花壇に 「植えてはいけなけしの花」 はありませんか？

夏を迎えるこの季節、ガーデニングを楽しまれている方も多くいらっしゃると思いますが、お宅の花壇に「植えてはいけなけしの花」はありませんか？



けしの花の中には、麻薬の原料となる成分が含まれているために「あへん法」という法律で栽培することが禁止されているものがあるのです。

植えてはいけなけしの花

- ・ケシ（ソムニフェルム種）
- ・アツミゲシ（セティゲルム種）
- ・ハカマオニゲシ（ブラクテアツム種）

植えてもよいけしの花

- ・オニゲシ
- ・アイスランドポピー
- ・ヒナゲシ（虞美人草）
- ・ブルーポピー

栽培できません！！

「植えてはいけなけしの花」は、自宅の花壇で観賞用として育てることはできません。

※ 育てる目的や場所や本数にかかわらず、一切の栽培が認められません。



注意して
ください！

インターネットで個人輸入したけしの種の中には、「植えてはいけなけしの花」の種が混ざっていることがあります。

また、「植えてはいけなけしの花」のうち八重咲きの花は、「ぼたんげし」または「ペオニ（フラワード）ポピー」という名前で、「植えてもよいけしの花」と一緒に園芸用として出回っている場合がありますので注意が必要です。



「植えてはいけなけしの花」と思われる花を見かけたら、ご相談、または、情報提供のご連絡をお願いします。

北海道留萌振興局保健環境部保健福祉室 0164-42-8315

担当職員が、栽培者に花の抜取り等の指導をいたします。

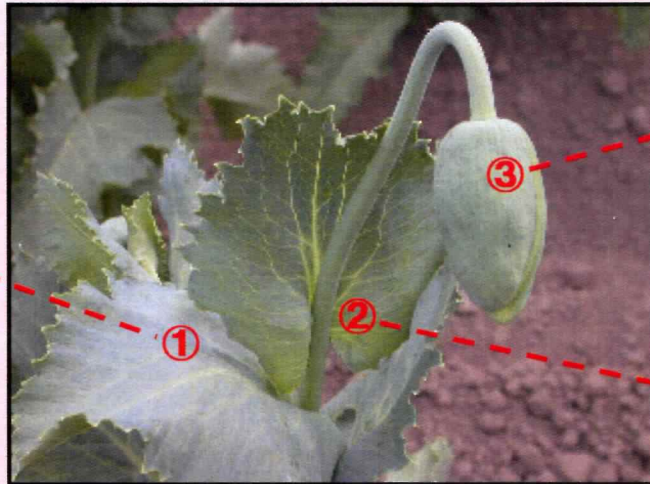
「植えてはいけないけしの花」の特徴を紹介します



「植えてはいけないけしの花」は、外観の特徴から「植えてもよいけしの花」と区別することができます。ケシ（ソムニフェルム種）の特徴を紹介します。

葉っぱと茎に3つの特徴があります！

葉っぱが、アイスランドポピーやひなげしよりも厚みがあって、キャベツのように全体的に白みがかっています。



葉っぱも茎もつぼみも、ほとんど毛が無く表面がすべすべとしています。

葉っぱの根元が、茎に巻きついていきます。

花の一般的な特徴

アイスランドポピーやひなげしのように一重咲きの花や八重咲きの花があります。

また、花びらの色は、白、赤、ピンク、オレンジ、紫など様々で、複数の色が混ざったものもあります。

このように花だけで特定するのは難しいので「植えてはいけないけしの花」であるかどうかは、茎や葉で見分けましょう。

